

教科 科目名	数学	単位数(週あたりの授業時数)		1 単位	
	数学B	履修学年(類型)	2学年	普通科	理型
教科書名(出版社名)			高等学校数学B(数研出版)		

### ●学習到達目標

数列、統計的な推測について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

### ●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
2	7	① 数列	① 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項および和を求める。いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用する。漸化式について理解し、簡単な漸化式で表された数列について、一般項を求める。また、漸化式を事象の考察に活用する。数学的帰納法について理解し、それを用いて簡単な命題を証明するとともに、事象の考察に活用する。
	9	① 数列 ② 統計的な推測	② 確率変数および確率分布について理解し、確率変数の平均、分散および標準偏差を用いて確率分布の特徴をとらえる。二項分布について理解し、それを事象の考察に活用する。標本調査の考え方について理解し、標本を用いて母集団の傾向を推測できることを知る。母平均の統計的な推測について理解し、それを事象の考察に活用する。

### ●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	数学的に意味づけや解釈しながら数学的に表現・処理したりすることができ、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとすることができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性をもつことができる。	問題を自立的・協働的に解決する過程を遂行することができ、さらに統合的・発展的に考察することができる。
B	数学的に表現・処理したりすることができ、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとすることができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度をもつことができる。	問題を自立的・協働的に解決する過程を遂行することができる。
C	数学的に表現・処理したりすることができる。	数学的論拠に基づいて判断しようとすることができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたりすることができる。	問題を自立的に解決する過程を遂行することができる。
評価方法	定期テスト 単元別テスト	定期テスト 単元別テスト 課題の取り組み	<u>学習活動</u> での取り組み <u>課題</u> への取り組み
評価の重み	$\alpha=0.4$	$\beta=0.3$	$\gamma=0.3$